

いきいき男女共同参画

人権政策課男女共同参画係
 電話：0269-62-3111
 FAX：0269-62-5990 (内線 371)
 E-mail：
 jinken@city.iiyama.nagano.jp
 いきいき女性センター未来
 飯山市大字飯山 1431
 電話・FAX：0269-62-0543
 E-mail：
 center-mirai@city.iiyama.nagano.jp

第5回「あなたと私の共同参画講座」受講生募集!

みんなで考えよう 自分づくり 地域づくり

期 日	講座の内容
第1回 7月19日(水) 午後7:00~9:00	開講式 オリエンテーション (ビデオ鑑賞) グループワーク
第2回 8月26日(土) 午後1:30~3:30	講義「いかそう 育てよう みんなの力」 講師 YU企画代表 花岡幸子さん
第3回 9月中旬	飯山市議会 9月定例会一般質問 傍聴 議場
第4回 9月29日(金) 午後7:00~9:00	【公開講座】 地域で語ろう! ワークショップ 会場 外様地区活性化センター 講義「ワイワイ一緒に村づくり」 講師 フリージャーナリスト 内山二郎さん
第5回 10月28日(土) 午後1:30~3:30	講義「自己表現力とコミュニケーション」 講師 松本市収入役・長野県NPOセンター理事 市川博美さん
第6回 11月7日(火) 午後7:00~9:00	講義「少子化とこれからの地域社会」 講師 長野県短期大学講師 築山秀夫さん 講座のまとめ 閉講式

★対象者 市内在住または勤務されている方 ★定員 40人 ※会場 女性センター未来ほか
 ★参加費 500円(飲み物代) 託児あります ★照会・申込先 人権政策課・女性センター未来へ

平和な社会を男女共同参画で

「いきいき男女共同参画市民会議」公開講演会から



△下諏訪町の樽川通子さん
 平成18年度市民会議
 総会が5月27日開催された。総会に先立ち「男女共同参画が社会を元気にする」と題して長野県監査委員の樽川通子(たるかわみちこ)さんの講演が開催されました。

樽川さんは女性議員をふやすネットワーク「しなの」を立ち上げ活動をされ当初予定の10年間を区切りと今月、解散式をされました。当時、県内の女性市町村議員は、82人しかいませんでしたが、現在は186人となり飛躍的成果をあげ、女性議員の参画に力を注がれました。

戦争反対への思い
 女性議員へのこだわりは「戦争を絶対許さない」ということが根底にある。物事の方向が決まった時には



△一般参加も多かった公開講座

また、女性
 は勉強はする
 が行動が結び
 つかないこと
 が多い。学ん
 だ事をぜひ実
 践に結びつけ
 て欲しい。先
 頭に立つ人は
 「いいこと、楽
 しいこと」を話
 すが、

未来通信

「辛いことを言う」と次に続く人はいない。また、前
 に出ようとする女性に対し
 ては育てる気持ちが大切だ。
 さらに次の世代へ繋いでい
 くことが必要と思う。

公開 ③いきいき男女共同
 参画プラン21の学習と推進
 ④行政等が開催する各
 種行事への参加・参画等
 等。役員は任期2年目の継
 続で、会員を随時募集して
 います。

男女共同参画条例はあつ
 た方がよい。下諏訪町では
 平成15年に出来た。指針と
 なるものであり、みんなの
 声を聞き、よりよいものを
 制定すること。推進には条
 例が必要ではないか。と話
 されました。

参加者からは▼自分の思
 いと同じでも元気がで
 た▼男女共同参画を男性が
 家のことをする事など狭く
 考えていた▼改めて平和の
 大切さを感じた▼愚痴って
 いる自分を反省した等の感
 想が聞かれました。

「日本女性会議」
 参加者募集
 「わからないから信じあう
 知らないから支えあう」
 をテーマに下関市で次の
 日程で開催されます
 期日 10月6日(金)
 7日(土)
 会場 山口県 下関市
 内容 講演 白石真澄さん
 (東洋大学経済学部教授)
 「男女共同参画の潮流」
 基調プログラム 山本美香
 さん ジャーナリスト「わか
 らないから信じあう。知ら
 ないから支えあう」
 2日目は分科会
 【記念講演】市原悦子さん
 俳優「私が信じた道 私の
 歩む道」
 市では次の要領で参加され
 る方を募集します。
 (参加費用)
 大会参加費 8000円
 交通費・宿泊費(実費)
 募集締切 6月30日

6月は男女雇用均等月間です

働く女性が性別により差
 別されることなく、その能
 力を十分に発揮できる雇用
 環境を整備することは、わ
 が国が将来にわたって経済
 社会の活力を発揮していく
 上でますます重要な課題と
 なっています。

厚生労働省では、男女雇
 用機会均等法の公布日(昭
 和60年6月1日)を記念し
 て6月を「男女雇用機会均
 等月間」と定め、職場にお
 ける男女平等について労使

を始め、社会一般の認識と
 理解を深めるための活動を
 しています。
 実質的な男女均等取扱い
 をするために、性別によ
 ることなく雇用管理を行う
 ことはもとより、女性労働
 者が十分にその能力を發揮
 することができるよう積極
 的な取組みが不可欠で、都
 道府県労働局において、企
 業に対する指導が積極的
 に行われています。

第8回女性センター未来文化講演会

「人生のターニングポイントを
 どう生きるか」
 みんなで考えよう 自分づくり 地域づくり

日時 6月24日(土)
 午後1時30分から

会場 女性センター未来

ノンフィクション作家
 講師 沖藤典子 さん



プロフィール
 1961年に日本リサーチセ
 ンター調査研究部入社。15
 年間の勤務後退社。女の生き
 方、家族や夫婦のありよう、
 働く女性の問題、高齢期の生
 き方や介護の問題、子育ての
 社会連帯など、現代社会にお
 けるさまざまなテーマを幅広
 く研究し発言しているノンフィクション作家。北海道
 生まれ。著書「女が職場を去る日」でベストセラー。
 他に「シニアいきいき納得ライフ」「女50歳人生後
 半がおもしろい」等。

「アミカ」による活動発表 ☆お待ちしております!
 「ひよこの会」による活動発表

入場無料 託児あります(事前にご予約ください)